

洛水中学校ブロックの小中一貫教育

小中一貫教育構想図

洛水中学校ブロック9年間の教育目標

『中学校卒業時の自立・自己実現のための確かな礎を築く』

『中学校ブロックの中で9年間を見通した連続性のある教育活動の構築を目指す』

『学力向上を中心とした意図的・系統的な小中一貫教育を積極的に進め、学びと育ちの充実を図る』

～9年間で目指す子ども像～

基礎的な学力をしっかりと身に付け、生き生きと学習に取り組む児童・生徒（言語活動）

仲間と積極的に関わり、共に学ぶことの喜びを感じることでできる児童・生徒（協働活動）

約束やルール、規律などを守り、行動することのできる児童・生徒（規範意識）

核となる取組

学力向上

自尊感情を高め、規範意識を育成する

具体的な取組

各教科

- ・課題の把握と共有
- ・学力実態分析と共有
- ・言語活動の充実
- ・指導と評価の一体化

小中合同研修会

- ・合同授業研修会 年2回
- ・夏季合同研修会

交流体験活動

- ・体験入学、部活動見学
- ・部活動交流

情報交換

- ・小中連絡会
- ・個別指導計画の活用
- ・保護者、地域の情報の共有

洛水中学校ブロック 小中一貫教育各部会

三校管理職（三校教頭会）

小中連携主任会（各校教務主任会）

生徒指導部

生徒指導主任
「規範意識や社会性をつけるため、約束やルール、規律などを確実に身につけさせる」
・インターネットによる問題行動、いじめ、不登校等の情報共有と対応の検討
・いろいろな問題をもった生徒を、多方面から支援していく

学習指導部会

研究主任
「学習意欲の向上の工夫と学習習慣の徹底」
・授業方法や教材についての見直し
・家庭学習の習慣化を図る取組の共通理解と実践
・テスト前の学習の確立
・わかる授業、考えさせる授業、やる気を育てる授業、思考を表現できる授業の実践
・道徳教育を通した自己肯定感の育成

人権教育部会

人権教育主任
「実生活につながる指導内容の工夫」
・コミュニケーション能力の育成
・指導案の交流
・人権学習の参観
・人権学習、人権教育における小中共通の課題について検討し、目標等を設定する。

総合育成支援教育部会

総合育成支援教育主任
「課題解決に向けた指導や支援の工夫」
・支援を要する児童生徒の現状分析と問題点を共有し、適切な支援のあり方を探る。
・中1に入学していく生徒の具体的な引継ぎを密にする。

事務部会

事務職員
「連携校の課題の解決や教育活動の活性化につながる取組を行う」
・チーム制による事務機能の向上

軸となる取組・活動

義務教育卒業時につけたい力								
基礎・基本となる学力								
学年または学年区分ごとにめざす姿								
小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)
<中学校ブロックとしての取組>								
<p>「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化を図る。 (家庭への働きかけ) 学習規律を徹底する。 読書活動を推進する。 家庭学習の定着を図る。</p>	<p>「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化を図る。 (家庭への働きかけ) 学習規律を徹底する。 読書活動を推進する。 家庭学習の定着を図る。 自主勉強の仕方や学習内容へのアドバイス。</p>	<p>「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化を図る。 (家庭への働きかけ) 学習規律を徹底する。 読書活動を推進する。 複数指導体制による個の見取りとつまづきに対する支援。 家庭学習の充実に向けた支援。</p>	<p>授業研修などで教職員の授業力を向上させ、生徒が主体的に学ぶ授業を進める。 家庭学習シートなどを使い家庭学習に自主的に取り組めるように習慣をつけさせる。</p>	<p>グループ学習などを通して、基礎学力を活用しながら、言語活動を充実させて、学び合いの場を設定する。 他者との協調や配慮を考える力を培い、協働活動を通して学力の向上を図る。</p>	<p>9年間で身につけた基礎・基本の学力を活用し、社会との結びつきを実感させながら、自己実現に向かわせる。</p>			

義務教育卒業時につけたい力								
規範意識を高め、自他を大切にできる。								
学年または学年区分ごとにめざす姿								
小1 (1年)	小2 (2年)	小3 (3年)	小4 (4年)	小5 (5年)	小6 (6年)	中1 (7年)	中2 (8年)	中3 (9年)
<中学校ブロックとしての取組>								
<p>学校のきまりの徹底 自分から挨拶ができるよう にする。 進んで当番や係の仕事をし ようとする態度を養う。 学校の人々に親しんで学校生 活を楽しむことができるよう な仲間づくりをする。</p>	<p>学校のきまりや社会のルールを 守ろうとする心を育てる。 進んで気持ちの良い挨拶がで きるようになる。 当番や係の仕事を進んで行い, みんなのために働く態度を養 う。 みんなで協力し合って楽しい学 級をつくる。</p>	<p>学校のきまりや社会のルールを 守り、自他の権利を大切にしよ うとする心を養う。 集団の一員として自分の役割を 自覚し、責任を果たそうとする 態度を養う。</p>	<p>生徒一人一人が中学校での居場所をつくり、存在感 を感じられる教育環境を形成する</p>	<p>道徳や様々な場 面で社会や学校 のルールやマナ ーを知り、社会 生活の中で守る べき正義である 規範を大事にす る態度を養う。</p>	<p>自分の行動につ いて客観的な視 点を持たせ、自 己の行動の結果 に責任をもとう とする心を養 う。</p>	<p>自己肯定感や自 己有用感を持た せ、豊かな人間 関係を築かせ る。 公徳心や責任感 を持ち、自己実 現を図れるよう な自己指導力を 身につける。</p>		

学びの約束・ルール

項目	小1（1年）	小2（2年）	小3（3年）	小4（4年）	小5（5年）	小6（6年）	中1（7年）	中2（8年）	中3（9年）
話し方・聞き方・読み方	相手に聞こえるような声で話す。相手の話をだまって最後まできく。内容の大体をつかむ。	順序を考え、わかりやすく話す。相手の話を大事なところに気を付けて聞き、感想をもつ。内容の大体をつかみ、表現方法の特徴に気付く。	自分の思いや考えを分かりやすく話す。相手の話を自分の考えと比べながら聞く。作品の内容を理解し、要点やクライマックスをとらえて読む。	自分の思いや考えをまとめながら話す。相手の話を自分の考えと比べながら聞き、次につながる発言をする。作品の構成・起承転結がわかり、要点をとらえて読む。	適切な言葉を選んで自分の意見を話す。相手の発言の意図をとらえて聞く。文章の要旨や筆者の主張、作品の主題をとらえて読む。	具体的例を入れたり、根拠を明らかにして話す。聞き手の反応を確認しながら話す。中心になる言葉に着目して聞き分ける。要旨や主題をとらえて読み、自分の考えをもつ。	小学校で身につけた話形を基盤とし、自分の意見を明確にしながら話す。相手の考えの要点を聞く。書かれていることを正確に読み取る。	相手意識を持ち、他者と自分の違いやつながりを考えながら、より良い関係作りを目指した話し方、聞き方を身につける。正確な読みとりのものと、自分の考えを広げ、社会生活の中に活かそうとする。	より良い人間関係の構築を目指し、社会生活の中で活用できる話し方、聞き方を身につける。
ノートづくり	マスの中に丁寧な字で書く。	マスの中に正しく丁寧な字で書き、大切な言葉は赤鉛筆で書いたり線を引いたりする。	正しく丁寧な字で書き、大事なところは線を引いたり囲んだりする。直線は、定規を使って引く。	正しく丁寧な字で書き、大事なところは線を引いたり囲んだりする。直線は、定規を使って引く。項目ごとに行をあけたり、見やすい工夫をする。	項目ごとに行をあけたり、効果的に色分けしたりして、見やすい工夫をする。自分の考えやより良い考えを書く。	項目ごとに行をあけたり、効果的に色分けしたりして、見やすい工夫をする。自分の考えやより良い考え、新しく気付いたことなどを書く。	大学ノートを使い、学習内容を整理して復習に活用できるノートを作る。	学習のポイントまとめ、板書の写し以外の授業メモ、自分の考え、仲間の考えなどを書き込み、学習の跡、思考の流れが整理されたノート作りをする。	
授業に向かう姿勢	合図で席に座る。授業に必要なものを準備し、終わったら片付ける。学習のあいさつがしっかりできる。名前を呼ばれたら「はい」とはっきり返事をする。	時間を守り着席する。学習の準備・後片付けがさっさとできる。良い姿勢で学習する。指名されたら「はい」とはっきり返事をする。話し手の目を見て黙って聞く。丁寧な言葉遣いで話す。	授業・活動の始まる時間を守り、必要なものが準備されていく。机の上に余計なものが置いていない。指名されたら、しっかりと返事ができる。話し手の目を見て黙って聞く。丁寧な言葉遣いで話す。その場に応じた声の大きさで話す。	授業・活動の開始時刻を守り、必要なものを準備する。集合・移動は、黙って行う。指名されたら、しっかりと返事ができる。話し手の目を見て黙って聞く。丁寧な言葉遣いで話す。その場に応じた声の大きさで話す。	授業・活動の開始時刻を守り、必要なものを準備する。集合・移動は、黙って行う。指名されたら、しっかりと返事ができる。話し手の目を見て黙って聞く。丁寧な言葉遣いで話す。その場に応じた声の大きさで話す。	授業・活動の開始時刻を守り、必要なものを準備する。集合・移動は、黙って行う。指名されたら、しっかりと返事ができる。話し手の目を見て黙って聞く。丁寧な言葉遣いで話す。その場に応じた声の大きさで話す。	授業規律を確立し、授業中の聞く場面・考える場面・表現する場面のけじめをつけ、仲間との学び合いを大切にする。	主体的に授業に臨み、自分の考えを確立しながら仲間と協働的に学ぶ姿勢を身につける。	自らの進路展望を持って学習し、将来の社会生活の中で活きる学力を身につけるべく、主体的、協働的に深く学ぼうとする。